



(公社)佐倉市シルバー人材センター ホームページ

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター

デイスカバー 佐倉

第9回

コミュニティバスで行く佐倉ミニミニ旅
城下町だけが佐倉ではありません
コロナ禍で気軽に旅行に出かけるのが難しいこの頃、コミュニティバスに乗って身近な佐倉の見どころを再発見しませんか。

可愛らしいコミュニティバスで

佐倉親善大使の画家、高橋真琴さんの可愛らしい少女のイラストが描かれたミニバスを見かけたことがありますか。交通空白地帯の移動手段として2018年から運行されている佐倉市のコミュニティバスです。小さなこもりとしたミニバスはかぼちゃの馬車の様で、里山の狭い道をスイスイ走る姿はトトロの猫バスの様でもありません。そんな可愛らしいミニバスに乗って、佐倉の地元の観光スポットを再発見しませんか。佐倉ミニミニ旅を楽しむために一味違った観光マップをご紹介します。

ユニークな観光マップ

観光マップを作ったのは佐倉市民カレッジのグループ「佐倉コミュニティバス旅28」の皆さん。市民カレッジの課題「私たちのまちづくり」で、



マップにアクセス



市役所の関係課に相談しながら半年をかけて手作りのマップを作りました。現在マップは「志津北側ルート編」と「内郷ルート編」の2つが出来上がっていて、市役所のホームページの観光、マイクローツリズムに掲載されています。

お薦めウォーキングコース

バスに乗って降りて、バスルート沿いの立ち寄りスポットを巡り、再びバスに乗って戻るウォーキングコースが3つ紹介されています。



まずは「青菅(あおすが)・先崎(まつきき)ノスタルジアを感じるコース」。ユーカーが丘駅前を、例えば左回りの9時17分のバスで出発して、11時47分に戻る約2時間半のコースです。スポットのなかでも先崎神社の彫刻は圧巻です。季節に合わせて、ソフトクリームも美味しいラベンダーランドや桜満開の青菅分校にも立ち寄りたいスポットです。

2つ目のコースは「井野ノソウルに触れるコース」です。周りを住宅地域に囲まれながらも、大切に保存されて来た史跡がひっそりと残っています。開創千三百年の大法要が営まれた千手院、災厄・疫病退散祈念のわらわりの飾りつけ「辻切」の風習など、随所で歴史を感じさせる地域を歩くコースです。ユーカーが丘駅前を同じく左回り9時17分に出発して、10時57分に戻るバスがおすすめです。

最後は、更に足を延ばす方にお薦めの「オプショ追加コース」が用意されています。静寂な加賀清水と江戸時代の街道の面影を残す成田道標・常夜燈でミニミニ旅を締めくくります。途中のページに挟まれた、コースにちなんだ手作りのクロスワードパズルも、ほっこりと楽しめます。

さあ、春はまじかです。佐倉市役所のホームページにアクセスしてコミュニティバスで行く佐倉ミニミニ旅にお出かけ下さい。新しい佐倉を発見しましょう。

取材担当/広報委員 小野寺 弘孝

目指せ！ユーチューバー！

「見て楽しむ」ものと思っていた動画は進化して、今では手軽に制作を楽しむ。いわば電子切り絵工作のようです。SSJCCのホームページでも仕事や同好会の多くの動画を公開しています。これ等の制作を担当されている秋元さん(佐倉・和田地区13班)より、シルバー世代もスマホを活用して楽しめる、動画制作に挑戦するヒントを寄稿してもらいました。

広報副委員長 徳野 廣一

ものを探し、感覚の合わないアプリはアンインストールします。完成したら投稿しましょう。

Tik Tokなら3分までの動画を投稿できますし、ユーチューブ、ツイッターも面白いです。フォロワーがくと制作意欲が湧いてきます。作品の公開は、非公開、限定公開、友達限定、あるいは一般公開と、自分で決められますので、内容により選びます。



公開する場合には、写る人物の肖像権、使う音楽の著作権に注意しましょう。



著作権フリーの楽曲なら指定の範囲で使えます。公開した自分の特技が業界の目に留まると、アウトも夢ではありません。ぜひお試しください。

スマホの普及で便利になったものは、動画撮影の他にも沢山あります。が、使うには注意も必要です。その代表がメールと電話です。次はこの話です。

怪しいメールは即削除！



「怪しい」とすぐわかるメールには関わらないよう、削除していると思います。けれども、本物と見分けがつかない偽メールの場合はどうしますか？この真偽の判定は迷います。発信者のアドレスを見る、文章に日本語の間違った使用法を見つけるなどの他に、そのメールに「返信欄」や「入力欄」がある場合は疑ってください。そして、添付ファイルは決して開かないことです。その会社のホームページから注意喚起の情報を見ると、偽メール情報が掲載されていることがあります。迷うなら即削除しましょう。

広報委員 秋元 正之

スマホで撮影した画像データを動画作品に仕立てて楽しむことは手軽にできることが分かり、皆さまよりも一足先に試しました。短いものですが、上手く出来ました。動画制作は面白くてお勧めです。秋元さん、よいヒントをありがとうございました。



1年を振り返る参加者

「訪問介護研修会」取材しました。

御用納めの午後、師走の忙しい時期に、佐倉市シルバー人材センターワークプラザの2階会議室に、訪問介護事業に関わる皆さんが参集して、「コロナ対策」を守りながら、熱心に討議されていました。

事務担当の櫻田さんの司会により、安全標語の唱和ではじまり、管理責任者の田中会長から、当センターの訪問介護事業を独自事業として、前会長の田中千俊会員と共に全国に先駆け開始した際のご苦労話、最近「IT化」を採り入れ、全国シルバー人材センター事業協会編の「月刊シルバー人材センター2021年1月号」において紹介されるなど、大変好評を得ていることなどの講話がありました。なお、開始時の経緯について「創立40周年記念誌・仲間」の8頁～13頁で詳細に紹介されています。

1部では、会場の皆さんが一人ずつ、本年度を振り返る簡単なメッセージを述べ、管理者の田中会長が、コメントや助言する形で進められました。

メッセージの内容は、ヘルパーさん一人一人の入会時の動機やその後の体験、日頃の活動内容、

お客様とのふれ合い等でした。それらを全員がシェアして、今後の活動に生かし、「お客様の自立に向けて、より良いサービスを提供していこう」という皆さんの温かい気持ちが強く感じられました。

また、2部においては、「ヘルパー職務における接客マナーの必要性と難しさ」と題して、サービス提供責任者である蔵原さんと飯高さんを中心に、さらに介護技術と接客マナーを深める研修会でした。



櫻田さんの司会で開会

“走れなくなる日が来るなんて…”

3年前に職場の先輩からいただいた年賀状でした…。

退職後もマラソンが趣味で、ハワイにまで遠征し、毎年「佐倉健康マラソン」へ出場しておられました。数人の先輩や同僚あるいはその配偶者がこのマラソン大会へ出場しており、小生は「佐倉弓友会」に属し、体協からの依頼で当日の誘導をするのが年中行事でしたので、皆さんから声をかけられたり、応援したりでした。

定期便などで、転倒など不慮の事故のお知らせを拝見します。先日の「佐倉市大博覧会」の当センター訪問介護事業ブースで、「転んだりして動けなくなり誰かの助けが必要になったらどうしたらよいでしょう？」と聞いてみました。



訪問介護事業ブース



『国民健康保険などにより受診し、介護保険については、市役所や近くの「包括支援センター」へ相談してください。介護保険を申請すると介護度の調査があり、認定された介護度により介護サービスが受けられるようになります。ケアマネさんから各介護事業所へサービス提供の相談があり、私たちの出番となります。』との事でした。

まず、当センターの訪問介護事業所(☎043-481-2010)に相談してみてもは如何でしょう。

佐倉市の問い合わせ先は、高齢者福祉課包括ケア推進班(☎043-484-6343)です。

ユーカリが丘公園近くに「志津北部」、志津市民プラザにある「志津南部」、白井駅の南側にある「白井・千代田」、京成佐倉駅北口向かいの「佐倉」、南部地域福祉センターにある「南部」の市内5カ所に包括支援センターがあります。

介護保険は、介護サービスによる「自立支援」を目標としています。先日の研修会でも、サービス提供後の回復された事例が報告されていました。

取材担当/広報委員長 岩淵 功



参加者と管理者の田中会長との意見交換